

環境大臣賞 <small>「事業所・地方公共団体等」分野</small>	受賞者名
	株式会社HIKONE化成
	取組の実践場所
	滋賀県犬上郡甲良町
	受賞テーマ
	発泡スチロール製造会社、市場等で使用された発泡スチロールの再生加工事業

受賞者は、平成16年に会社を設立して以来、一貫して発泡スチロールを再生加工する事業に取り組んできた。発泡スチロールは、建設、輸送等、現代社会のあらゆる所で活用されているが、これらを廃棄物として扱った場合、相当なCO₂を排出し(*)、環境に悪影響を与える要因となる。

(*) 発泡スチロールを焼却した場合、発生するCO₂は1tに対しておよそ3.38tと試算される。

同社は、この廃棄物を少しでも無くす為に、不要となった発泡スチロールを加工し、原料へ戻したり、建設で用いられる加工品へ換えたりするといった取り組みを行ってきた。

家電輸送、建築資材製造や水産輸送等のあらゆる業種にて、不要になった発泡スチロールが産業廃棄物として発生している。これらを同社が収集し、元の用途や特性に応じて選別、必要な加工を施し、原料へ戻したり、新たな用途で使用できる加工品として成形したりといった取り組みを実施している。

従来、焼却処分されるはずだった産業廃棄物を再生加工することにより、CO₂発生を抑止し、地球環境保護への寄与はもちろんのこと、原料である天然資源（原油）の保護にも役立っている。

設立当初は年間120tにも満たない回収、加工量であったが、日々、努力を続け、処理工程やラインを増設することによって、あらゆる種類の発泡スチロールに対応、現在においては年間約700tもの再生加工を実現できるようになった。

また今後の展開として、発泡スチロールの油化の実現を目指し、さらなる天然資源の保護、確保へ繋げていくことを検討している。

他にも、同社の取り組みも含めたりサイクル活動をさらに広めるため、同業者と全日本プラスチックリサイクル工業会を通じて、様々な啓蒙活動へ積極的に参加している。

